

# 浜中町創生総合戦略

2016.3

# 浜中町創生総合戦略 目次

1 基本的な考え方 .....	1
1-1 趣旨 .....	1
1-2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要 .....	1
1-3 北海道創生総合戦略の概要 .....	2
1-4 浜中町創生総合戦略の位置付け .....	3
1-4-1 国・北海道の創生総合戦略との関連 .....	3
1-4-2 第5期浜中町新しいまちづくり総合計画との関連 .....	3
1-4-3 計画期間 .....	3
1-4-4 総合戦略の策定・推進体制 .....	4
1-4-5 目標設定と進捗管理 .....	4
2 基本目標の設定 .....	5
2-1 基本目標 .....	5
2-2 施策の体系 .....	5
3 具体的な施策 .....	6
4 地方創生に関するアンケート調査結果 .....	12
4-1 アンケート調査の概要 .....	13
4-2 小中学生アンケート .....	13
4-3 高校生アンケート .....	18
4-4 町民アンケート .....	22
4-5 調査結果の総括 .....	33

# 1 基本的な考え方

## 1-1 趣旨

国は、急速な少子高齢化等の進展に的確に対応し、特に若い世代の地方から東京圏への人口流出に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたり活力ある日本社会を維持していくことを目的に、平成 26 年 11 月 28 日、「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。

また、本町においても少子高齢化の進展等に伴い、生産年齢人口が減少傾向にあり、その克服を図るために、地域経済の発展と活力ある地域社会の形成を目指していかなければなりません。

このため、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国や北海道が策定した総合戦略を十分に勘案しながら、本町の実情を踏まえ、人口・経済・地域社会の課題に一体的に取り組むべく、「浜中町創生総合戦略」を策定します。

## 1-2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

日本の人口は、平成 20(2008)年をピークに減少局面に入っており、平成 62(2050)年には 9,700 万人程度になると推計されています。人口減少は地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥るリスクが高くなっています。

そのため、人口減少を克服し地方創生を成し遂げるために・・・

- ①「東京一極集中」を是正する
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
- ③地域の特性に即して地域課題を解決する

といった基本的視点から、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことが重要となっています。

そこで、国は次の4つを政策の基本目標とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中の是正を進めていくとしています。

### 【政策の基本目標】

基本目標①：地方における安定した雇用を創出する

2020 年までの 5 年間累計で地方に 30 万人の若い世代の安定した雇用を創出。

基本目標②：地方への新しい人の流れをつくる

東京圏から地方への転出 4 万人増、地方から東京圏への転入 6 万人減、東京圏から地方への転出入を均衡。

基本目標③：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

2020 年に結婚希望実績指標を 80%、夫婦子ども数予定実績指標を 95%に向上。

基本目標④：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

「小さな拠点」の整備や「地域連携」を推進する。国の目標数値は各地方版総合戦略の状況を踏まえて設定。

### 1-3 北海道創生総合戦略の概要

北海道の人口は、国全体が経済成長期にあった 1960 年代以降、全国で見ても低い出生や道外への人口流出により、徐々に増加の幅が小さくなりました。その結果、平成 9(1997) 年をピークに減少に転じた後、全国を上回るスピードで人口減少が進んでいます。

また今後、このままの推移で人口が減少した場合、超高齢化の人口構造とも相まって、経済、暮らし、行政等の幅広い分野において、地域社会の存亡にも関わる極めて深刻な事態となることが危惧されています。

この状況を打開するためには、北海道により多くの人を呼び込んで定着させ、増やしていくことが求められます。そのためには、これまでの考え方に代わる価値観を見い出しながら、北海道ならではの魅力を引き出し、独自の発展を遂げていくという気概を持って、人口減少という危機を突破する必要があります。

こうした観点から、北海道は「北海道創生総合戦略」を策定し、北海道の創生を進めるにあたり、2040 年に 450 万人から 460 万人程度の人口規模を維持するという長期展望に立ち、道民が共有するめざす姿とその実現に向けた取組みの基本方向を次のように示しています。

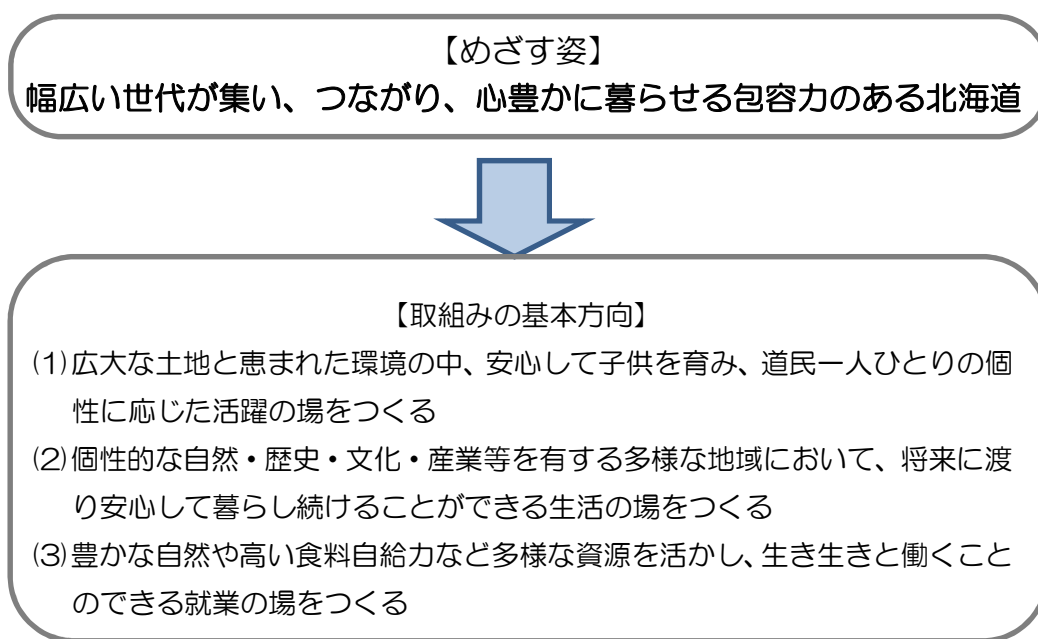


図 1 北海道創生総合戦略のめざす姿と取組みの基本方向

## 1-4 浜中町創生総合戦略の位置付け

### 1-4-1 国・北海道の創生総合戦略との関連

浜中町創生総合戦略は、浜中町人口ビジョンの内容を踏まえるとともに、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び北海道の「北海道創生総合戦略」を勘案し、整合性を図ります。

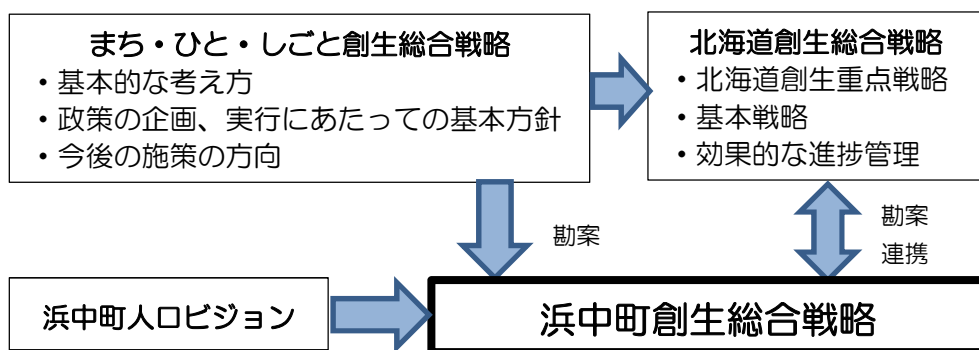


図 2 国・北海道の総合戦略等との関連

### 1-4-2 第5期浜中町新しいまちづくり総合計画との関連

浜中町創生総合戦略の計画期間は、「第5期浜中町新しいまちづくり総合計画」の計画期間（後期 平成27年度～平成31年度）と合致し、総合戦略の基本的な考え方は総合計画との整合性を十分に図ります。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
第5期浜中町新しいまちづくり総合計画	基本構想 基本計画									
	前期 実施計画					後期 実施計画				
浜中町創生総合戦略						浜中町創生総合戦略				

図 3 第5期浜中町新しいまちづくり総合計画との関連

### 1-4-3 計画期間

浜中町創生総合戦略の計画期間は、平成27年度～平成31年度の5カ年とします。

#### 1-4-4 総合戦略の策定・推進体制

市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定については、「まち・ひと・しごと創生法」第10条第1項で規定されています。

そこで、本町は庁内における策定・推進組織として、町長を本部長とする「浜中町総合戦略推進本部」を設置し、その下部組織として、総合戦略策定のために必要な調査・検討を行う3つの「総合戦略策定プロジェクトチーム」を設置しました。

更に、浜中町創生総合戦略の策定及び推進等に関して広く意見を聴取するため、外部組織として、産業団体、金融機関、教育・福祉関係者等で構成する「浜中町総合戦略推進委員会」を設置しました。

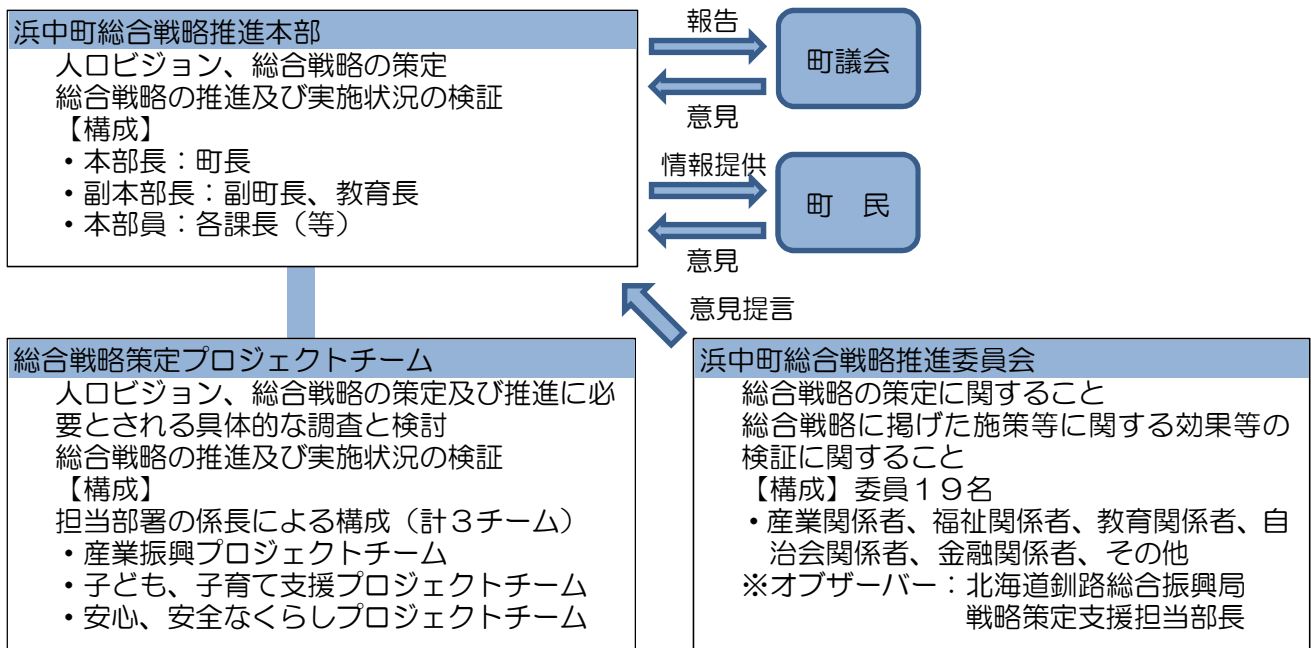


図 4 総合戦略の策定・推進体制

#### 1-4-5 目標設定と進捗管理

この総合戦略は、政策分野毎に基本目標を設定するとともに、具体的な施策については、客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定します。

また、計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルを確立し、効果的な戦略策定と着実な実行、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を見直しながら推進していきます。

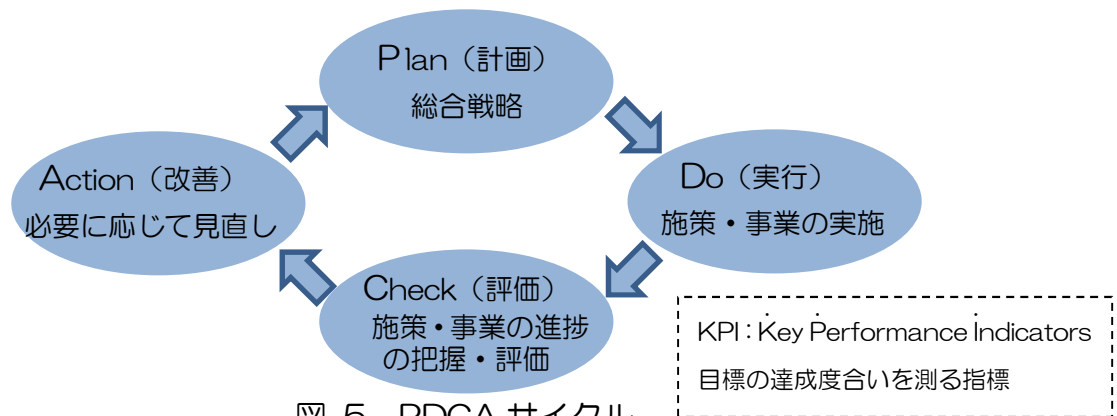


図 5 PDCA サイクル

## 2 基本目標の設定

### 2-1 基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示されている4つの政策の基本目標は次のとおりとなっています。

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方への新しい人の流れをつくる
- ③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

「浜中町創生総合戦略」の基本目標は、国の基本目標に沿った形で設定します。

また、基本目標を達成するために取り組む施策の基本的な方向性、関連する施策等とその重要業績評価指標（KPI）を設定します。

#### 【浜中町創生総合戦略の基本目標】

##### ■基本目標① 魅力あふれる地場産業の振興と安定した雇用を創出する

豊かな自然を活かし、基幹産業である農業、漁業を中心とした産業振興を図り、若い世代にとって「魅力」と「やりがい」のある仕事を創出します。

##### ■基本目標② 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てができる環境を構築する

若い世代の「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・出産・子育てにおける支援充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

##### ■基本目標③ 誰もが安心・安全を実感して住み続けられるまちづくり

住環境、災害対策の充実を図りながら、あらゆる人が安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

### 2-2 施策の体系

#### 基本目標① 魅力あふれる地場産業の振興と安定した雇用を創出する

- ①産業後継者の確保及び新規就業者等の育成
- ②新商品の開発等、地場産品の付加価値向上
- ③6次産業化等の推進と販路拡大
- ④雇用環境の充実による多様な就業機会の創出
- ⑤地域資源を活用した知名度向上と交流人口の拡大
- ⑥異業種間の交流等による出会いの場の提供

#### 基本目標② 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てができる環境を構築する

- ①安心して子どもを産むことができる体制の充実
- ②安心して子どもを育てるための支援強化
- ③安心して子どもを預けられる保育環境の整備
- ④霧多布高等学校の魅力づくり
- ⑤地域の特色を生かした教育活動の推進

#### 基本目標③ 誰もが安心・安全を実感して住み続けられるまちづくり

- ①一人ひとりの命を守る災害に強いまちづくり
- ②誰もが安心して住み続けられる生活環境等の整備
- ③公共施設の適正な更新と廃校校舎等の有効活用

### 3 具体的な施策

基本目標①	魅力あふれる地場産業の振興と安定した雇用を創出する	
<p>将来にわたって基幹産業である農業・漁業を守っていくことは、本町の人口減少対策の基本です。今後は、特に若年層の産業後継者の確保・人材育成を強化するとともに、恵まれた地域資源を活かした地場製品の付加価値化やブランド化、更には6次産業化に取り組むことで、一次産業と関連した新たな雇用の場の創出を目指します。また、本町の優れた観光素材等を十分に生かしながら、交流人口の拡大を目指します。</p>		
指標	基準値	数値目標
生産年齢人口	3,673人（平成26年）	3,300人以上の確保（平成31年）

#### 【施策1 産業後継者の確保及び新規就業者等の育成】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■基幹産業である農業・漁業の振興のため、意欲ある担い手の確保と育成、若年者の定着を促進します。</p> <p>■商工業における事業者の経営安定のための支援策等を充実させます。</p> <p>■後継者の確保や将来を担う人材育成を図り、産業面での実践活動に結びつける施策を推進します。</p>	<p>①新規就農者誘致事業</p> <p>②産業後継者対策事業</p> <p>③漁業技術習得支援事業</p> <p>④エゾシカ等有害鳥獣対策事業</p> <p>⑤商工業経営改善支援事業</p> <p>⑥人づくり事業の推進</p>	<p>①新規就農者数 5年間で10件</p> <p>②Uターン・新規学卒による後継者人数 5年間で10人</p> <p>③技術習得者人数 5年間で5人</p> <p>④新規狩猟免許取得人数 5年間で5人</p> <p>⑤起業及び商業継承店数 5年間で10件</p> <p>⑥年間事業数 5件以上</p>

#### 【施策2 新商品の開発等、地場製品の付加価値向上】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■本町の地場製品について、新商品開発やブランド化等、付加価値向上に向けた対策を推進します。</p> <p>■地場製品の魅力増大に取り組む団体や企業等の連携を支援します。</p>	<p>①特産品開発等推進事業</p> <p>②新技術導入等支援事業</p>	<p>①特産品ブランド化開発件数 5年間で15件</p> <p>②新技術導入件数 5年間で10件</p>



【施策3 6次産業化等の推進等と販路拡大】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■ 地場製品の生産、加工、販売の一体化による新たな産業の創出を促進します。</p> <p>■ 特産品の販路拡大に向けた取組みを推進します。</p>	<p>① 6次産業化等支援事業</p> <p>② 地産地消推進事業</p> <p>③ 「道の駅」等による地域振興事業</p>	<p>① 新規事業者数 5年間で5件</p> <p>② 地産地消取組み件数 5年間で10件</p> <p>③ 基本計画策定 5年間で策定</p>

【施策4 雇用環境の充実による多様な就業機会の創出】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■ 求人求職者間の雇用のミスマッチングを解消するための取組みを推進します。</p>	<p>① 雇用対策促進事業</p>	<p>① 対策会議等による取組み件数 5年間で10件</p>

【施策5 地域資源を活用した知名度向上と交流人口の拡大】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■ 豊かな自然や食材等、地域の特性を十分に生かしながら、交流人口の拡大に向けた取組みを推進します。</p> <p>■ 本町の情報発信の強化を図るとともに、宣伝普及活動を積極的に推進します。</p> <p>■ 東京特別区との交流事業等、管内市町村との広域連携事業を推進します。</p>	<p>① 観光交流イベント事業</p> <p>② 観光施設の整備と適正管理</p> <p>③ 各種媒体を活用した情報発信・PRの強化</p> <p>④ 広域観光推進事業</p> <p>⑤ 都市圏における誘客活動、物産普及事業</p>	<p>① イベント参加者増加率 5年間で10ポイント増加</p> <p>② 観光施設整備件数 5年間で15件</p> <p>③ PR事業実施回数 5年間で15件</p> <p>④ 事業実施件数 5年間で15件</p> <p>⑤ 誘致普及活動実施件数 5年間で15件</p>

【施策6 異業種間の交流等による出会いの場の提供】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■ 積極的な異業種間によるイベントや地域づくりの取組みを通じて、出会いの機会を支援します。</p> <p>■ 町内の独身男女の結婚を促進する活動を推進します。</p>	<p>① 異業種間交流事業</p> <p>② 婚活支援事業</p> <p>③ 結婚祝金支給事業</p>	<p>① 交流事業実施件数 5年間で10件</p> <p>② 婚活事業実施件数 5年間で10件</p> <p>③ 支給件数 年間20件以上</p>

基本目標②	若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てができる環境を構築する	
<p>浜中町の合計特殊出生率は1.54であり、全国平均と比べると12%、全道平均と比べると16%高い数値になっています。しかし、人口減少に歯止めをかけるためには、基幹産業である農業・漁業を中心に、特に若い世代の方々が、働きながらしっかり子育てができる環境を整える必要があります。そのために、これまでにない新たな取組みを進めながら、子育て環境の充実を目指します。</p>		
指標	基準値	数値目標
合計特殊出生率	1.54人（平成27年）	1.8人（平成31年）

### 【施策1 安心して子どもを産むことができる体制の充実】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■本町には、産婦人科や不妊治療を行う専門医療機関がなく、その場合、近隣市町への通院を余儀なくされていることから、妊娠や出産に関する支援を充実させ、出生数の増加を目指します。</p>	<p>①妊産婦の通院に係る交通費の助成事業 ②一般不妊治療費助成事業 ③出産祝金支給事業</p>	<p>①助成事業活用件数 年間50件 ②不妊治療費助成率 100% ③支給件数 年間50件以上</p>

### 【施策2 安心して子どもを育てるための支援強化】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■共働き家庭であっても、安心して働きながら子育てができる環境にするため、子育てに関する悩みを解決し、子どもが健やかに育つよう、子育て支援の充実を図ります。</p>	<p>①高校生世代までの子ども医療費の全額無料化 ②子どもインフルエンザ予防接種料の一部助成事業（高校3年生まで） ③母親同士の交流機会及び子育て相談体制の充実 ④放課後児童クラブの受入体制等の充実</p>	<p>①助成率 100% ②インフルエンザ予防接種を希望する1歳～18歳以下の接種率 100% ③交流機会の件数 年間平均10件以上 ④児童受入数 10%増</p>

【施策3 安心して子どもを預けられる保育環境の整備】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■保護者が働きながら子育てができるよう、ニーズに即した保育の提供を行うとともに、保護者の負担軽減を図り、子どもが健やかに育つための各種支援の充実を目指します。</p>	<p>①一時預かり保育の実施 ②保育料の負担軽減の拡大 ③子育て支援センターの内容充実 ④保育ニーズ・就労者の分析調査の実施 ⑤保育サービスの充実（保育時間の見直しやへき地保育所の給食実施などの検討）</p>	<p>①一時預かり保育利用数 年間400件以上 ②、④、⑤ 4・5歳児入所割合 100% 3歳以下の入所割合 10%増 ③子育て支援センター利用者数 年間平均10%増</p>

【施策4 霧多布高等学校の魅力づくり】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■町内外から霧多布高等学校に進学する生徒のために、学校生活を送る上で独自性のある支援を強化します。 ■生徒数の減少を防ぐとともに、霧多布高等学校ならではの教育活動を展開し、魅力に溢れた町立高校を目指します。</p>	<p>①学校給食の実施 ②生徒スキルアップ事業 ③遠距離通学者に対する定期券助成事業 ④遠距離通学者のためのバス運行事業 ⑤特色ある教育活動の推進（浜中学、環境・産業視察研修、海外交流派遣他） ⑥特色ある教育カリキュラムの創設 ⑦町独自による学習支援員の配置</p>	<p>①～⑦ 霧多布高等学校進学率 5年間で10%増</p>

【施策5 地域の特色を生かした教育の推進】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■小・中・高等学校が一貫し、地域の特色を生かした教育活動を推進することにより、本町の将来を担う人材の育成に努めます。</p>	<p>①小・中学校における土曜授業の実施 ②小・中・高等学校における環境・産業教育の推進</p>	<p>①土曜授業の実施回数 年間実施数 5回以上 ②実施学校数 100%</p>

基本目標③ 誰もが安心・安全を実感して住み続けられるまちづくり		
<p>何よりも、浜中町に居住する人達が安心して生産活動に従事し、将来にわたって住み続けてもらうためには、日常の生活基盤の向上を図るとともに、災害からしっかり安全が確保されることが必要です。特に、浜中町は過去に多くの自然災害に遭遇した経験とその教訓をもとに「災害に強いまちづくり」を進めており、今後は人口減少対策の一環として、町民一人ひとりの安心・安全な暮らしを守っていきます。</p>		
指標	基準値	数値目標
浜中町からの社会減の抑制	251人（平成26年）	210人（平成31年）

#### 【施策1 一人ひとりの命を守る災害に強いまちづくり】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■地震や津波災害をはじめ、様々な自然災害から町民一人ひとりの命をしっかりと守るため、ハードとソフトが一体となった総合的な防災対策を推進します。</p>	<p>①防災行政無線のデジタル化 ②一時避難施設への防災備蓄品の常時配備 ③津波防災避難訓練や避難所運営訓練の実施</p>	<p>①防災無線デジタル化率 100% ②施設への備蓄品配備 100% ③避難訓練参加者数 5年間で20%増</p>

#### 【施策2 誰もが安心して住み続けられる生活環境等の整備】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■誰もが安心して住み続けるためには、日常生活を送る中で、その利便性を大きく向上させることが必要であることから、住宅やインフラ全般にわたる生活環境の向上に努めます。</p>	<p>①安心すまいる促進事業による新築・リフォーム実施者への一部助成 ②町内巡回バス運行事業 ③光回線やWi-Fiステーションの設置等、情報通信網の整備促進 ④道路ストック総点検事業等による町道等、交通環境の整備 ⑤下水道等、水洗化の普及促進 ⑥広域連携を含めた地域医療の充実</p>	<p>①助成件数 年間平均20件以上 ②町民利用者数 10%増 ③エリアカバー率100% ④町道等の整備 年間5カ所以上 ⑤町内の水洗化率 平成31年5%増 ⑥広域医療連携事業数 5年間で2事業</p>

【施策3 公共施設の適正な更新と廃校校舎等の有効活用】

施策に関する基本的な方向性	関連する施策等	重要業績評価指標（KPI）
<p>■老朽化する公共施設の適正な更新・管理を行うとともに、町内で廃校となった学校施設への民間導入等を促進し、有効活用を図っていきます。</p>	<p>①公共施設総合管理計画の策定及び計画的管理の推進                  ②浜中町水道ビジョンの策定及び推進                  ③民間活用等を導入した廃校舎の利用促進</p>	<p>①計画策定 5年間で1件                  ②計画策定 5年間で1件                  ③廃校利用数                  5年間で2校</p>

#### 4 地方創生に関するアンケート調査結果

#### 4-1 アンケート調査の概要

浜中町総合戦略を策定するにあたり、地方創生に関するアンケート調査を実施しました。アンケート調査の概要は次のとおりです。

表 1 アンケート調査の概要

	小中学生アンケート	高校生アンケート	町民アンケート
対象	小学校 5、6 年生・中学生 (町内 9 校)	町内居住高校生	全世帯
方法	学校配布、回収	学校配布、回収	自治会を通じて配布、回収
個人属性	通学先、性別	通学先、学年、性別	居住地、性別、年齢、 職業、雇用形態
設問	浜中町の現状、将来の職業、 浜中町の居留意向、まちづくり	浜中町の評価、居留意向と理由、 進路、職業、今後の浜中町	結婚、出産、子育て、 産業振興
配布、 回収数	小学校 配布：122人 回収：121人 (99.2%) 中学校 配布：198人 回収：194人 (98.0%)	配布：78人 回収：78人 (100%)	配布：2,340 世帯 回収：1,291 世帯 (55.2%)

#### 4-2 小中学生アンケート

■あなたが通っている学校と学年を教えてください。学校の番号に○印をつけて、( ) に学年を書いてください。(問1) あなたの性別を教えてください。(問2)

町内 9 校から回答がありました。性別構成を見ると小・中学校ともに女子がやや多くなっています。

##### a.小学校 (単位：人)

	小学5年生			小学6年生			合計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
霧多布小学校	10	11	21	7	10	17	17	21	38
散布小学校	3	5	8	2	2	4	5	7	12
浜中小学校	5	9	14	5	4	9	10	13	23
茶内小学校	12	12	24	9	11	20	21	23	44
茶内第一小学校	0	3	3	0	1	1	0	4	4
合計	30	40	70	23	28	51	53	68	121

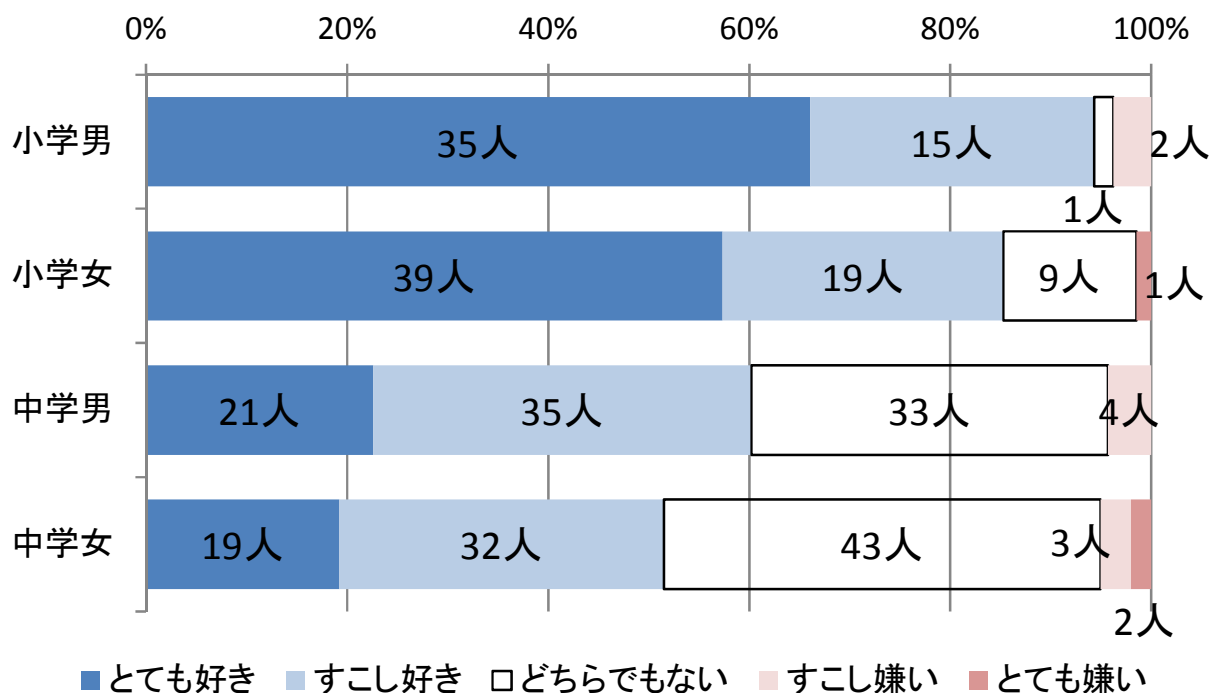
##### b.中学校 (単位：人)

	中学1年生			中学2年生			中学3年生			合計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
霧多布中学校	12	13	25	11	16	27	18	9	27	41	38	79
散布中学校	5	2	7	4	2	6	4	5	9	13	9	22
浜中学校	5	5	10	5	7	12	5	5	10	15	17	32
茶内中学校	9	10	19	6	10	16	9	16	25	24	36	60
合計	31	30	61	26	35	61	36	35	71	93	100	193

※回答は 194 人あったが、性別不明が 1 人あった。

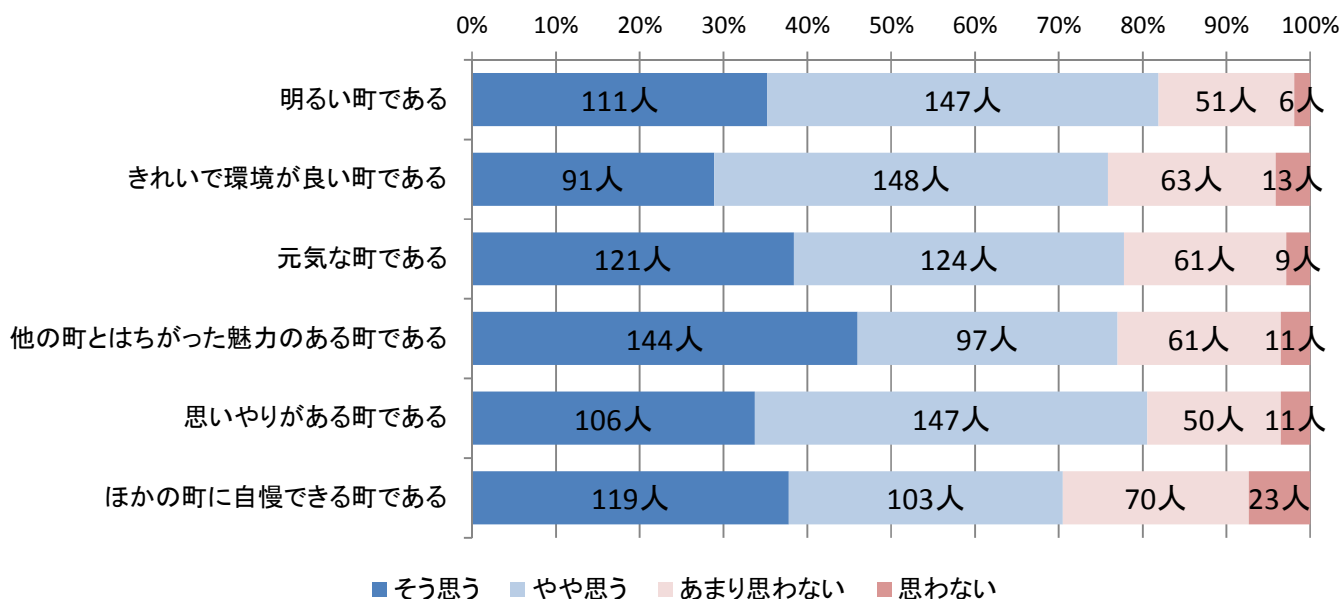
■あなたは浜中町が好きですか（問3）

小学生は、「とても好き」と「すこし好き」を合わせた「好き」の割合が80%を超えていますが、中学生は50%を超える程度となっています。



■あなたは浜中町はどのような町だと思いますか。それぞれの質問に当てはまるものを1つ選んで○印をつけてください。（問4）

各項目で、70%以上が「そう思う」と「やや思う」を合わせた「思う」となっています。



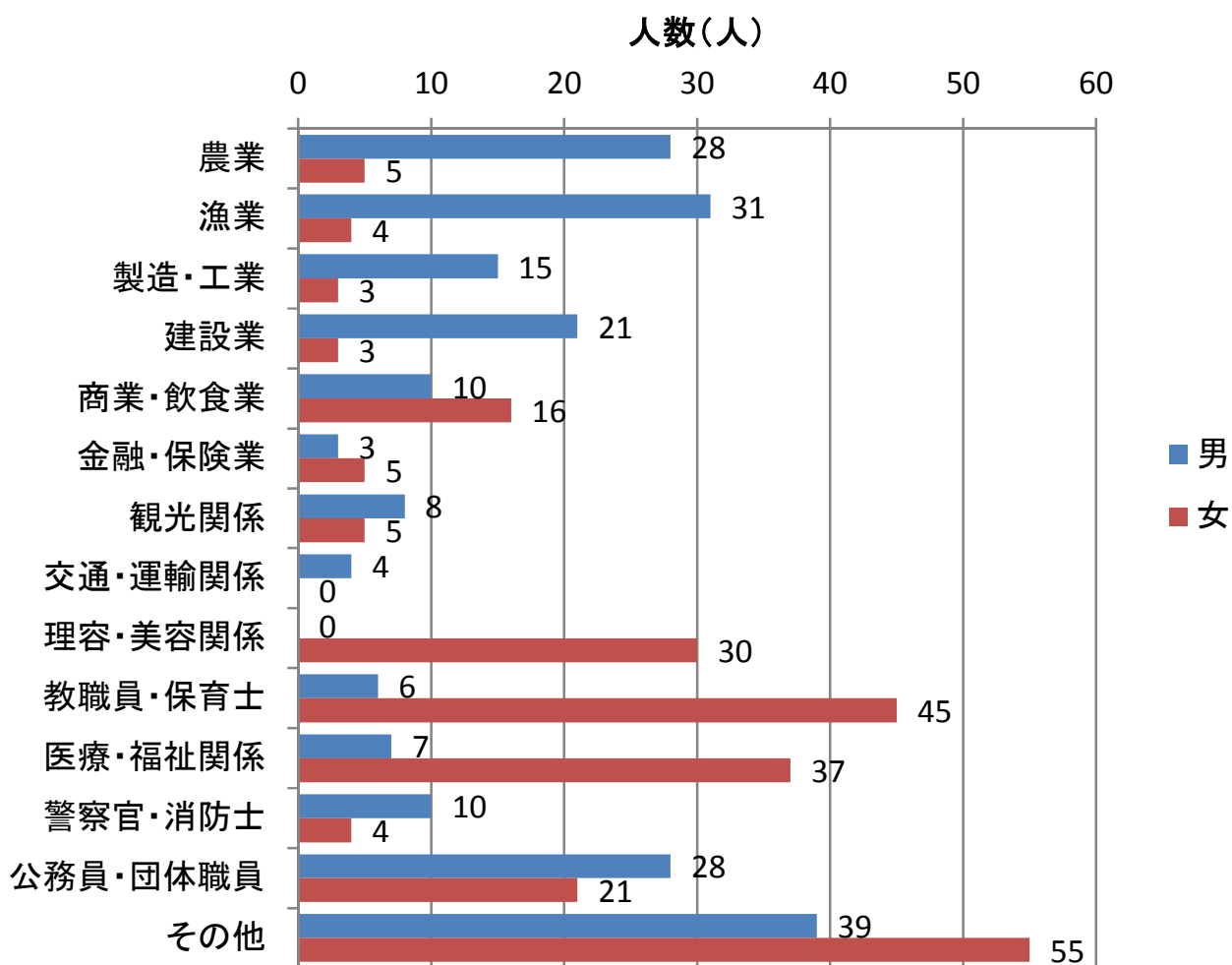
※小中計 回答数 1887



■あなたは将来、どのような職業につきたいですか。2つまで選んで○印をつけてください。(問5)

その他を除き、男子は「漁業」、「農業」、「公務員・団体職員」が多く、女子は「教職員・保育士」、「医療・福祉関係」、「理容・美容関係」が多くなっています。

なお、その他は「未定」、「わからない」という回答が多くなっています。

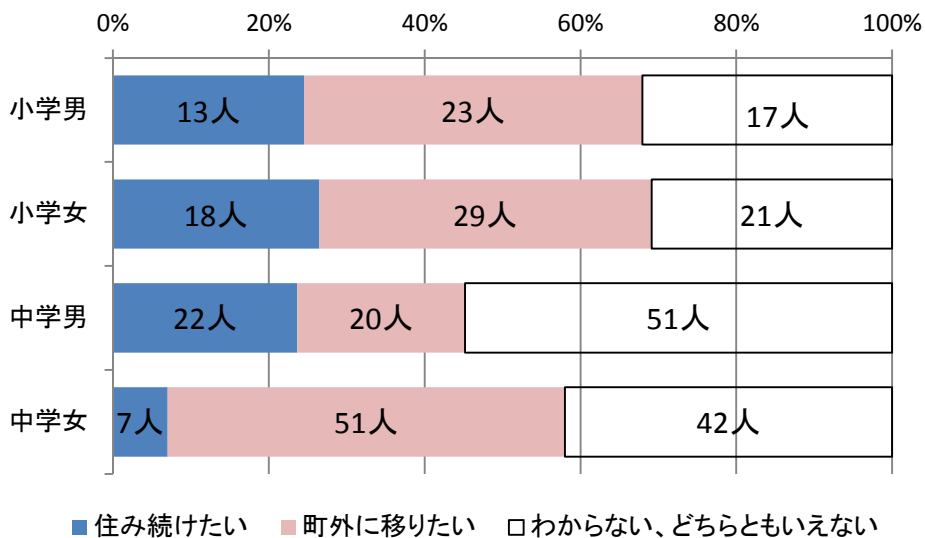


※小中計 回答数 443

■あなたはこれからも浜中町に住み続けたいと思いますか。(問6)「町外に移りたい」と答えた方にお聞きします。その理由を2つ選んで○印をつけてください。

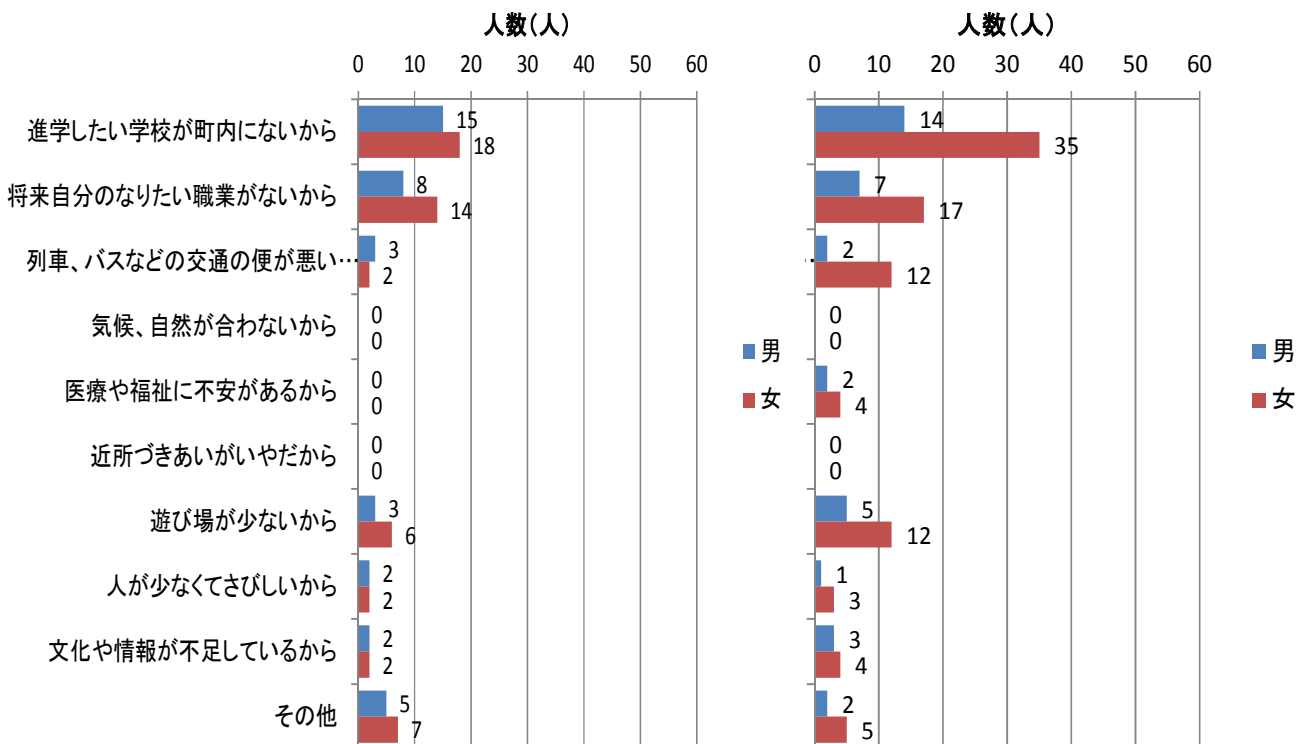
「住み続けたい」とする割合は、小学生及び中学生男子は20%を超えていますが、中学生女子はわずか7%で、半数以上は「町外に移りたい」となっています。

また、「町外に移りたい」理由は、「進学したい学校が町内にないから」が最も多く、次いで「将来自分のなりたい職業がないから」となっています。



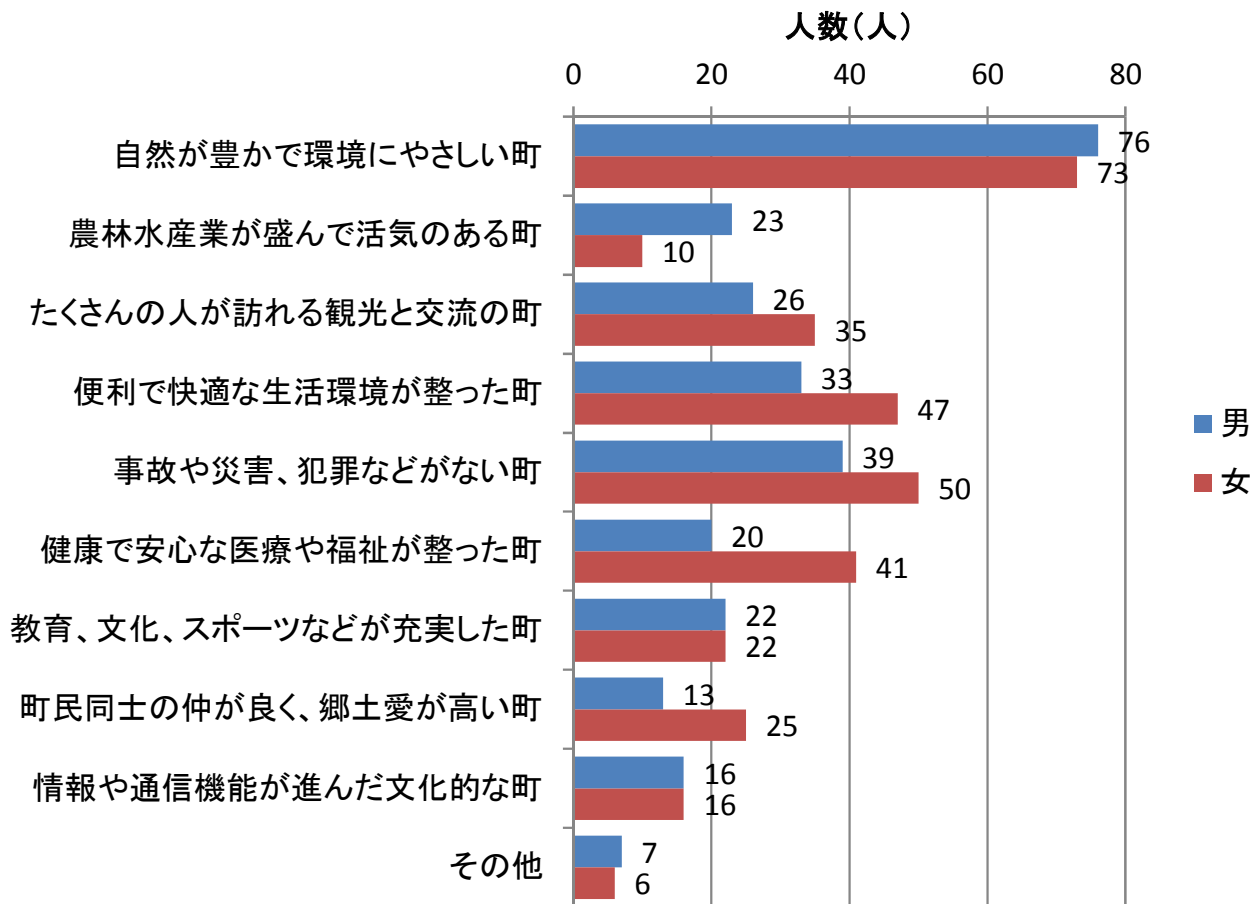
a.小学生 回答数 89

b.中学生 回答数 128



■これからの浜中町はどのような町になってほしいですか。2つ選んで○印をつけてください。(問7)

「自然が豊かで環境にやさしい町」が最も多く、「事故や災害、犯罪などがない町」、「便利で快適な生活環境が整った町」と続いています。



※小中計 回答数 600

### 4-3 高校生アンケート

■あなたの通っている学校と学年を教えてください。(問1)

■あなたの性別を教えてください。(問2)

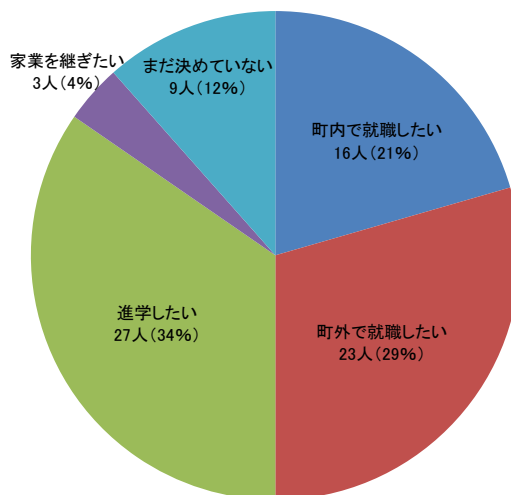
回答は全て霧多布高等学校生徒 78 人であり、男子が 53%とやや多くなっています。

単位：人

高校1年生			高校2年生			高校3年生			合計		
男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
13	14	27	18	15	33	10	8	18	41	37	78

■あなたは自分自身の卒業後の進路をどのように考えていますか。(問3)

卒業後の進路は、「進学したい」が34%で最も多く、「町外で就職したい」が29%、「町内で就職したい」が21%となっています。



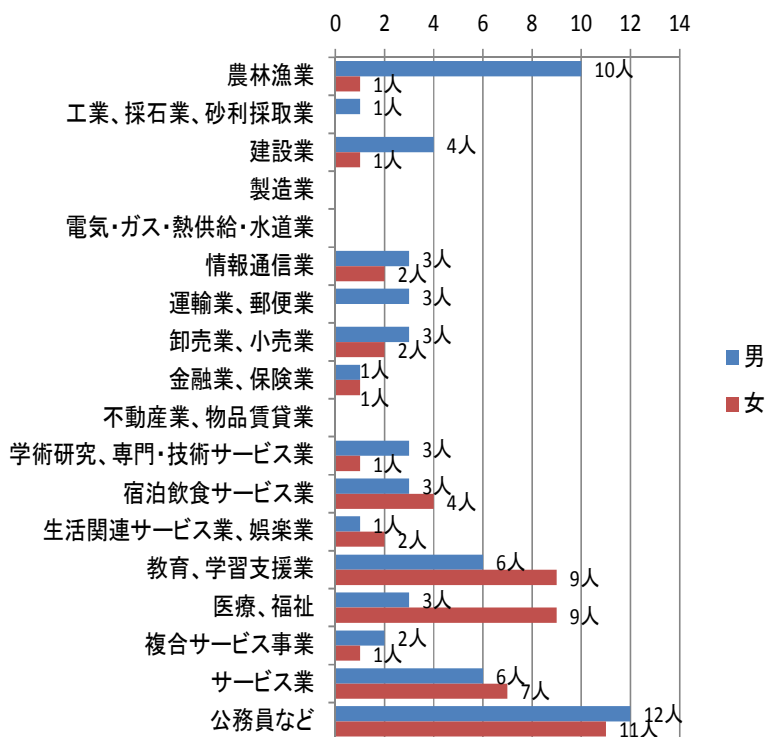
※回答数 78

■あなたは将来、どのような職業につきたいですか。2つまで選んで○印をつけてください。また、具体的な職業名があればお答えください。(問4)

男女ともに、「公務員など」が最も多くなっており、その次に男子は「農林漁業」、「教育、学習支援業」、女子は「教育、学習支援業」、「医療、福祉」が続いています。

【具体的な職業】

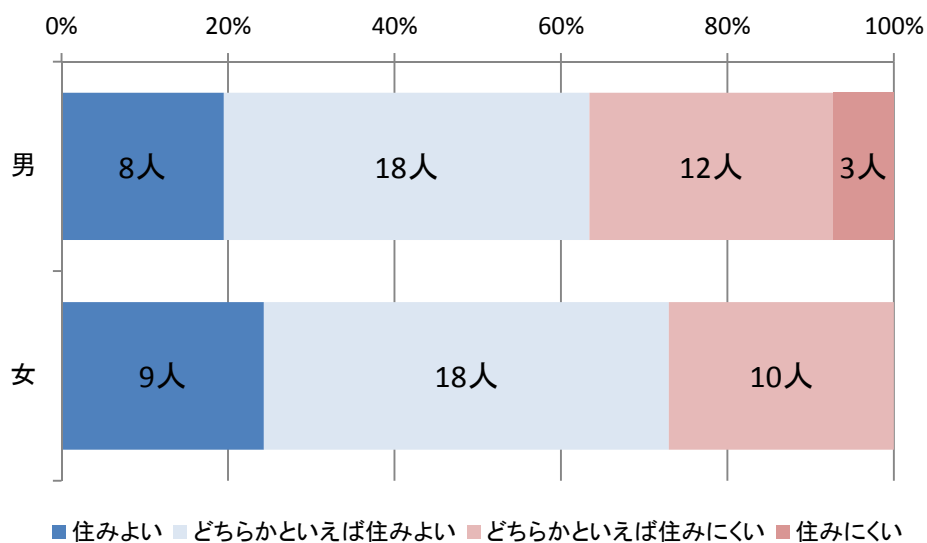
(男子)	(女子)
消防士	保育士
昆布	役場職員
役場職員	介護職員



※回答数 112

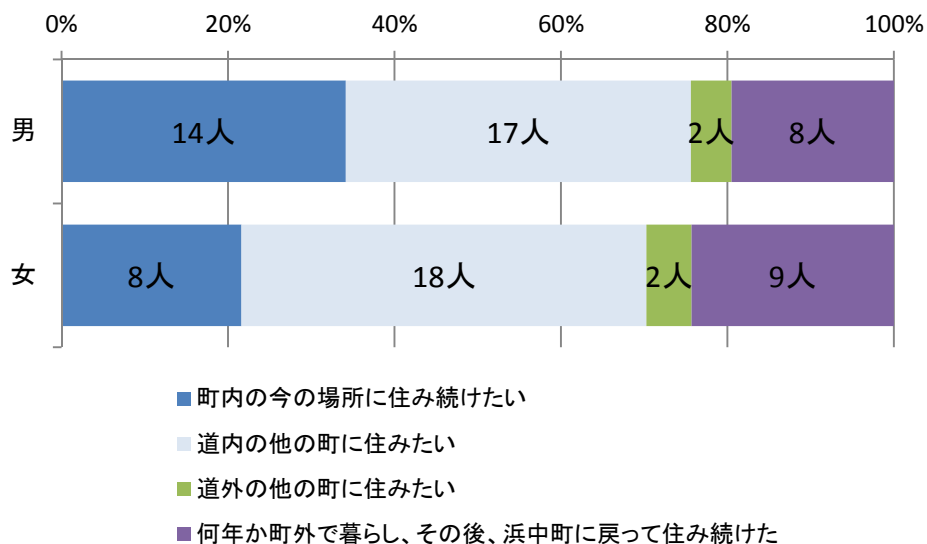
**■あなたは浜中町が住みよい町だと思いますか。(問5)**

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた「住みよい」の割合は、男子が63%、女子が73%となっています。



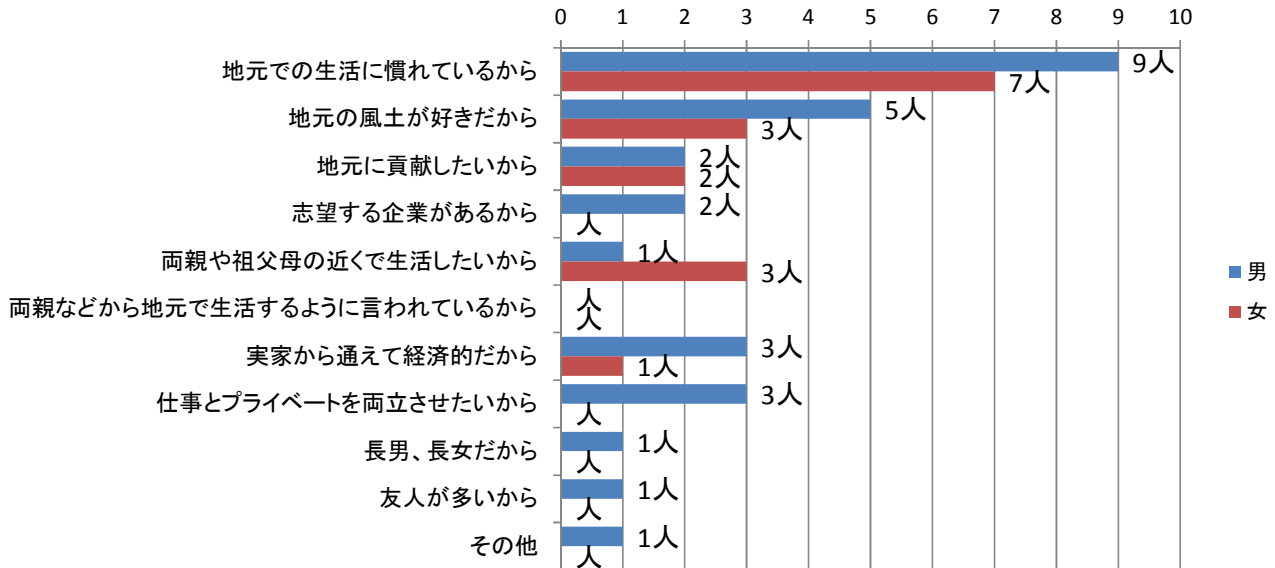
**■あなたは将来も浜中町に住み続けたいと思いますか。(問6)**

「町内の今の場所に住み続けたい」とする割合は、男子が34%、女子が22%となっています。



■「問6」で「1」と回答された方にお伺いします。あなたは、なぜ浜中町に住み続けたいですか。次の中から3つまで選んで番号に○印をつけてください。(問7)

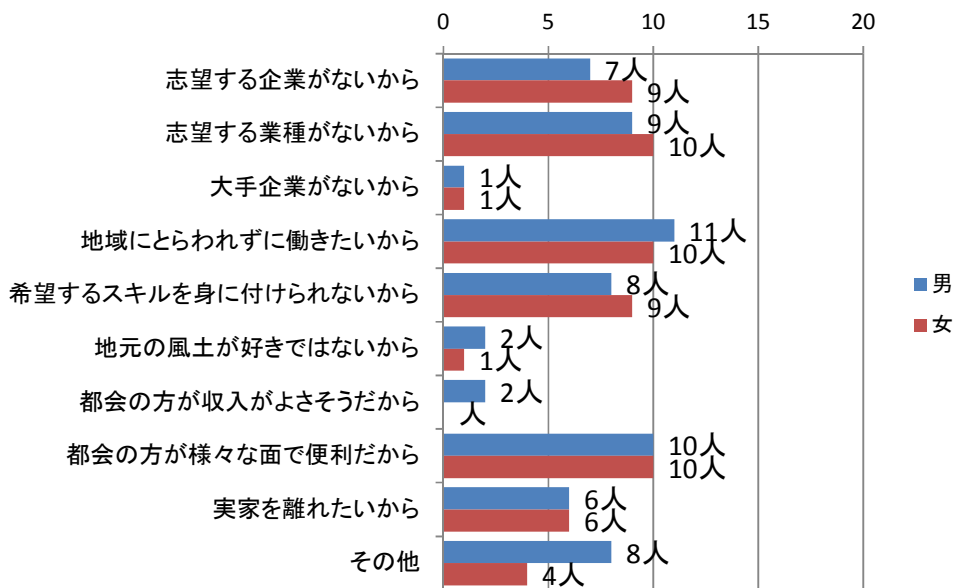
住み続けたい理由は、「地元での生活に慣れているから」、「地元の風土が好きだから」が多くなっています。



※回答数 44

■「問6」で「1」以外と回答された方にお尋ねいたします。あなたは、なぜ浜中町から他の町に移りたいのですか。次の中から3つまで選んで番号に○印をつけてください。(問8)

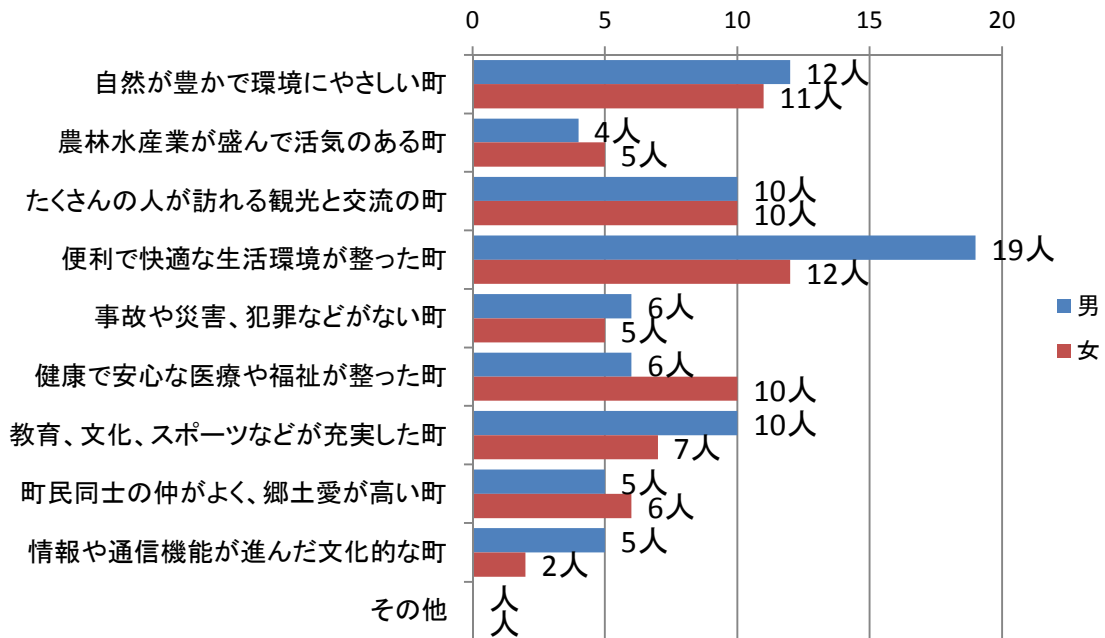
他の町に移りたい理由は、「地域にとらわれずに働きたいから」、「都市の方が様々な面で便利だから」、「志望する業種がないから」、「志望する企業がないから」、「希望するスキルを身に付けられないから」が多くなっています。



※回答数 124

■あなたは将来の浜中町がどのような町になることを望みますか。2つ選んで○印をつけてください。(問9)

将来の浜中町について、「便利で快適な生活環境が整った町」、「自然が豊かで環境にやさしい町」、「たくさんの方が訪れる観光と交流の町」を望んでいる割合が高くなっています。



※回答数 145

#### 4-4 町民アンケート

■あなたのことについて教えてください。(問1)

配布数は2,340世帯、回収数は1,291世帯(回収率55.2%)でした。

a.地区別回収数 単位：人

霧多布	238
湯沸	4
新川	73
暮帰別	125
仲の浜	22
琵琶瀬	65
渡散布	18
火散布	43
丸山散布	46
藻散布	33
榊町	49
奔幌戸	16
貴人	15
恵茶人	4
浜中	85
熊牛	14
姉別	67
厚陽	12
茶内	180
茶内農村	30
茶内第一	28
茶内第三	19
円朱別	10
西円朱別	19
不明	76
合計	1,291

b.職業 単位：人

	男	女	不明	計
農林業	106	47	19	172
漁業	189	128	29	346
工業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0
建設業	43	7	4	54
製造業	26	17	4	47
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0	0	4
情報通信業	0	0	0	0
運輸業、郵便業	11	7	0	18
卸売業、小売業	23	13	4	40
金融業、保険業	5	2	0	7
不動産業、物品賃貸業	0	1	0	1
学術研究、専門・技術サービス業	15	7	1	23
宿泊業、飲食サービス業	5	8	2	15
生活関連サービス業、娯楽業	2	2	0	4
教育、学習支援業	28	12	3	43
医療、福祉	2	21	0	23
複合サービス事業	2	0	0	2
サービス業	49	30	3	82
公務	49	15	2	66
不明	110	124	110	344
合計	669	441	181	1,291

c.年齢 単位：人

	男	女	不明	計
10代	1	1	0	2
20代	32	12	0	44
30代	71	52	5	128
40代	95	84	12	191
50代	152	112	19	283
60代	176	104	28	308
70代以上	138	73	47	258
不明	4	3	70	77
合計	669	441	181	1,291

d.居住年数 単位：人

5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上	不明	計
125	58	128	150	193	502	135	1,291
(9.7%)	(4.5%)	(9.9%)	(11.6%)	(14.9%)	(38.9%)	(10.5%)	(100.%)

e.住宅の種類 単位：人

一戸建持家	一戸建借家	公営住宅	民間マンション、アパート	社宅	公宅	不明	計
950	35	103	26	45	39	93	1,291
(73.6%)	(2.7%)	(8.0%)	(2.0%)	(3.5%)	(3.0%)	(7.2%)	(100.%)

f.後継者の有無 単位：人

後継者となる	後継者とはならない	後継者はいない	不明	計
277	384	401	229	1,291
(21.5%)	(29.7%)	(31.1%)	(17.7%)	(100.%)



■あなたは結婚されていますか（事実婚を含む）。結婚歴は何年ですか。共働きですか。  
（問2）

a.結婚状況 単位：人

	男	女	不明	計
既婚（離別死別）	71	110	30	211
既婚（あり）	513	278	64	855
未婚	69	33	11	113
不明	16	20	76	112
合計	669	441	181	1,291

b.結婚歴 単位：人

5年未満	10年未満	20年未満	30年未満	30年以上	不明	合計
39	38	116	119	399	467	1,178

c.共働き 単位：人

はい	いいえ	不明	合計
560	223	72	855

■子供の有無、人数及び年齢（問3）

a.子供の有無 単位：人

	男	女	不明	計
はい	514	368	87	969
いいえ	124	54	14	192
不明	31	19	80	130
合計	669	441	181	1,291

b.子供の人数 単位：人

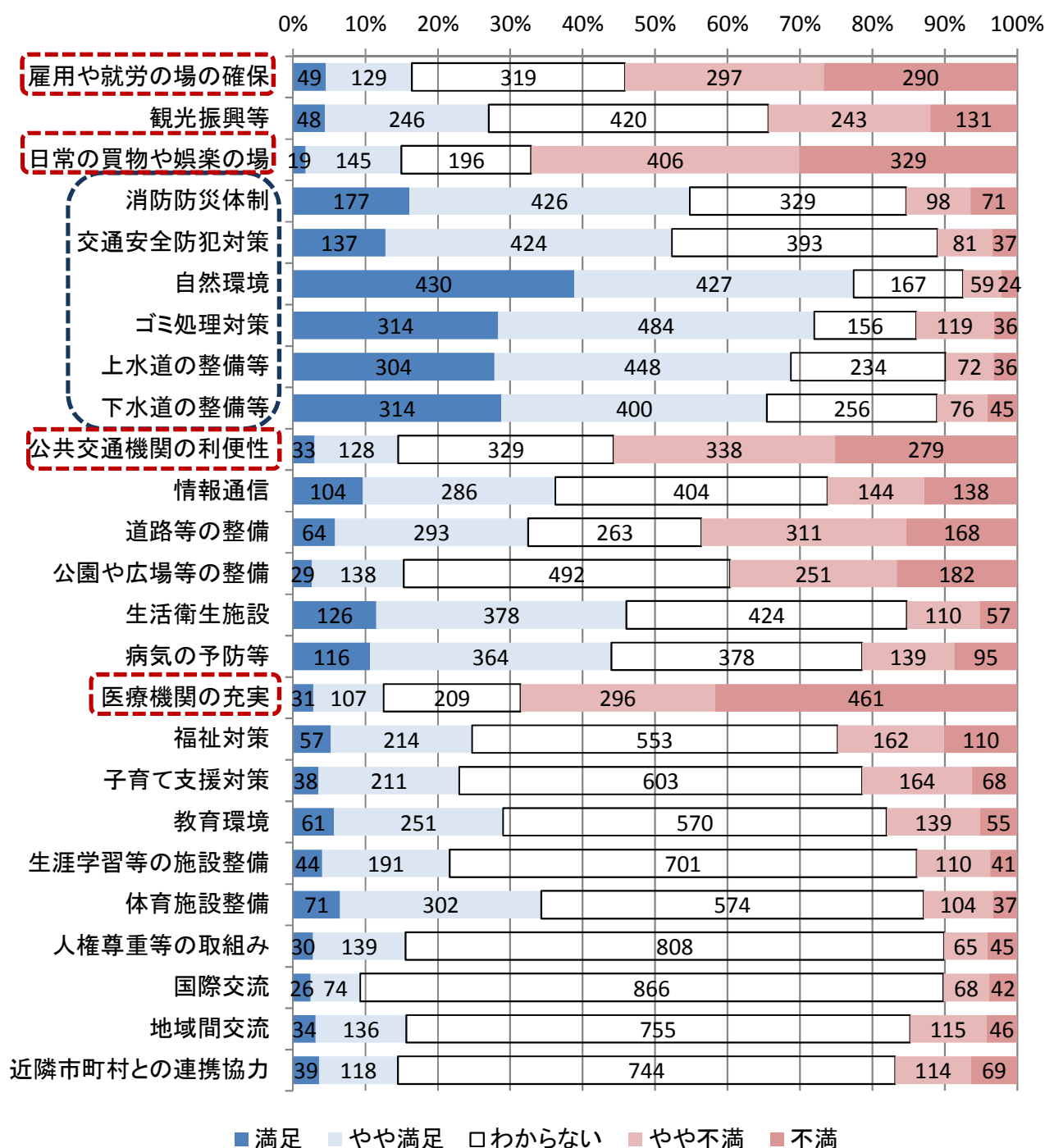
1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	合計
141	405	314	71	10	28	969

c.子供の年齢 単位：人

乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学、大学院生	未婚の子供	既婚の子供
22	77	105	89	85	64	274	360

■浜中町の生活に関する次の各項目について、「現在の満足度」についておたずねします。  
 それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。(問4)

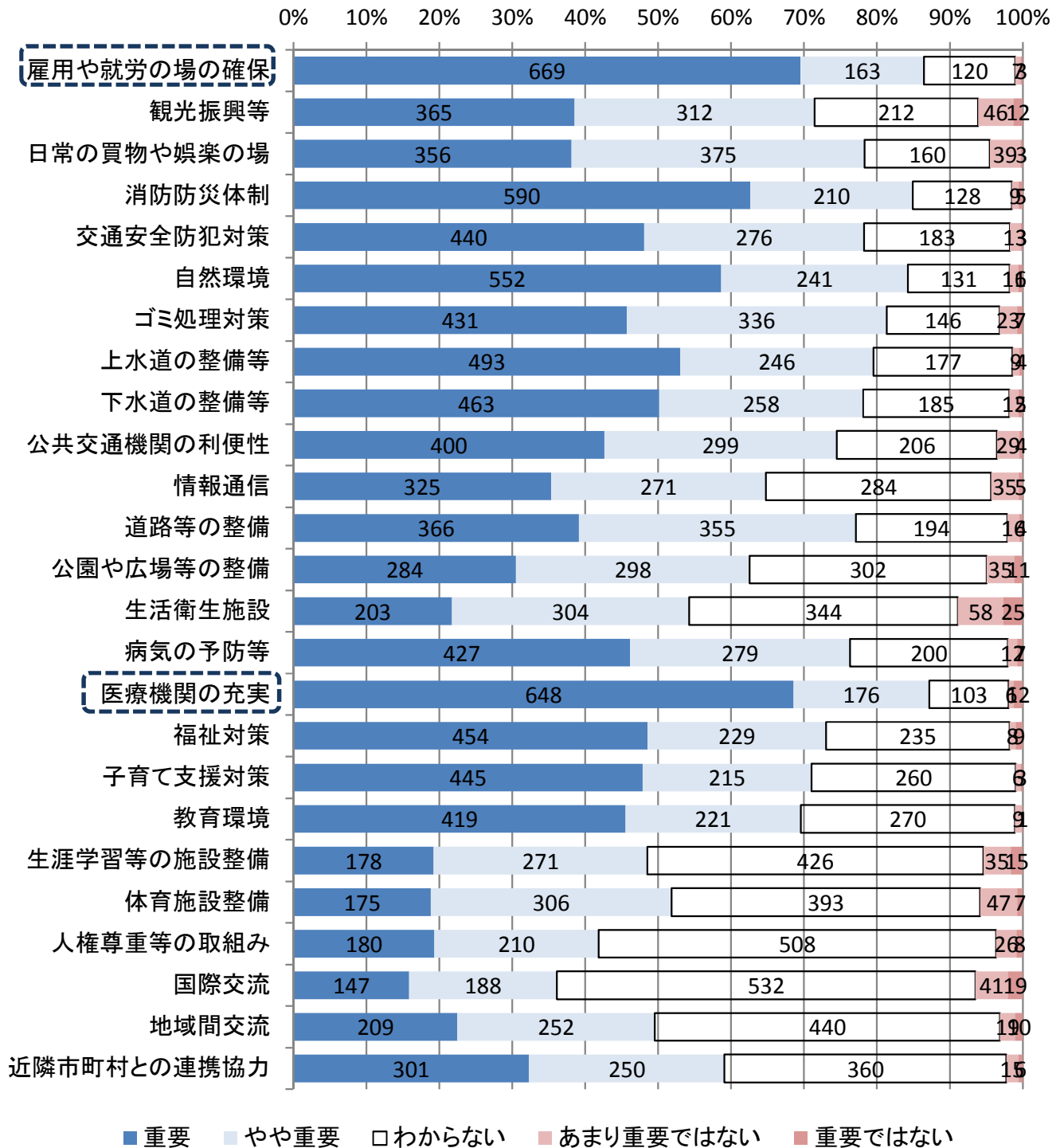
「満足」と「やや満足」を合わせた割合が50%を超えているのは、「自然環境」、「ゴミ処理対策」、「上水道の整備等」、「下水道の整備等」、「交通安全防犯対策」、「消防防災体制」となっています。また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が50%を超えているのは、「医療機関の充実」、「日常の買物や娯楽の場」、「公共交通機関の利便性」、「雇用や就労の場の確保」となっています。



※図中の数値は人数

■浜中町の生活に関する次の各項目について、「今後の重要度」についておたずねします。  
 それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。(問4)

「重要」の回答割合が特に高くなっているのは、「雇用や就労の場の確保」、「医療機関の充実」となっています。



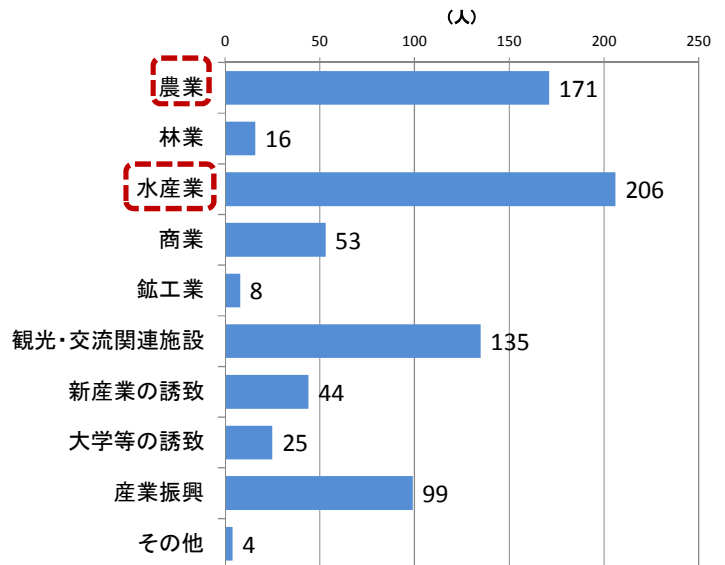
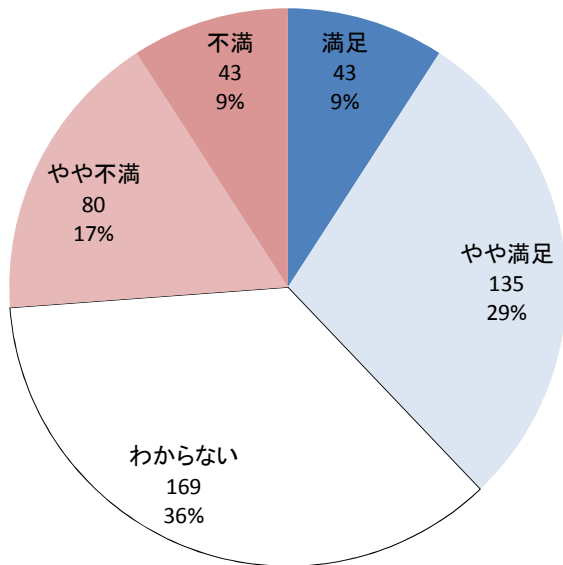
※図中の数値は人数

■農業、林業、水産業、商業、鉱工業、観光関連業の方は〔問5-①〕の質問を、それ以外の職業の方は〔問5-②〕の質問にお答えください。あなたの職業にかかわる町の施策【事業や取組み】に対する満足度を1つ選んで○印をつけてください。浜中町の産業振興について、特にどの分野に力を注ぐべきだと思いますか、次の中から3つ以内を選び番号に○印をつけてください。(問5)

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、38%にとどまります。これらの産業以外の方が力を注ぐべきと考えている分野は、「農業」、「水産業」が多くなっています。

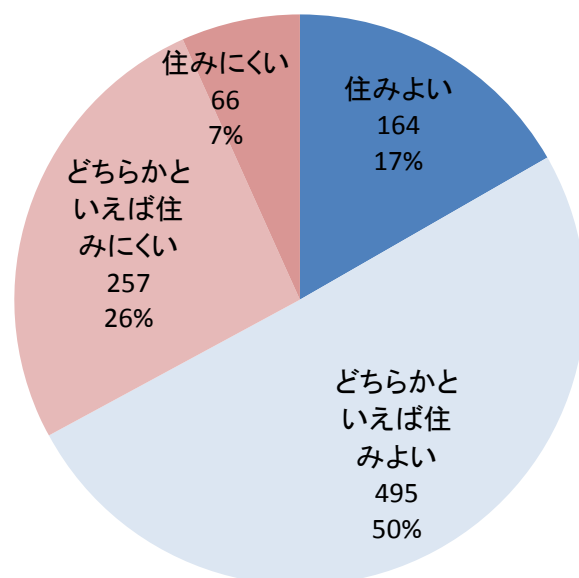
a. 施策に対する満足度 回答数 470

b. 力を注ぐべき分野 回答数 761



■あなたは浜中町が住みよい町だと思いますか。1つ選んで○印をつけてください。(問6)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた「住みよい」の割合は、67%となっています。

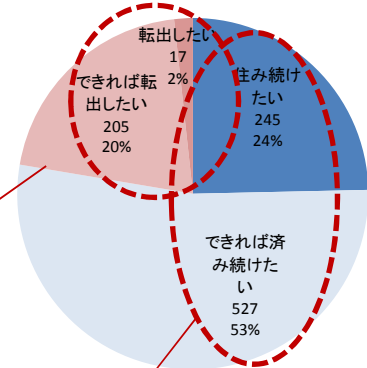


※回答数 982

■あなたは、これからも浜中町に住み続けたいと思いますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。理由は何ですか。2つまで選んで○印をつけてください。(問6)

77%が「住み続けたい」としています。その理由は、「自分に合う仕事(職場)がある」、「気候や自然環境が良いから」、「人間関係が安心できるから」が多くなっています。

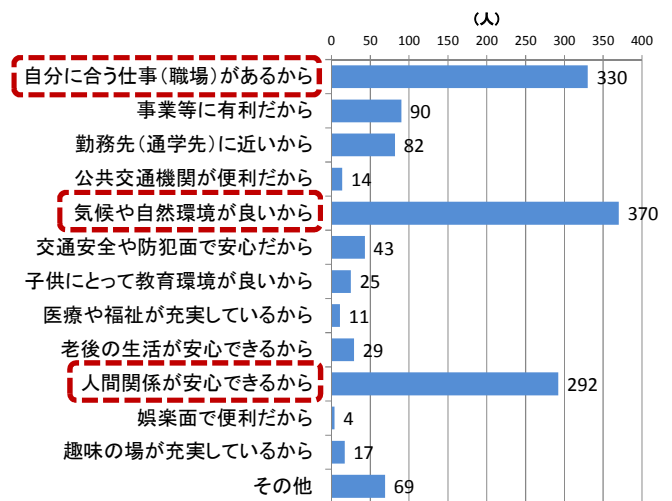
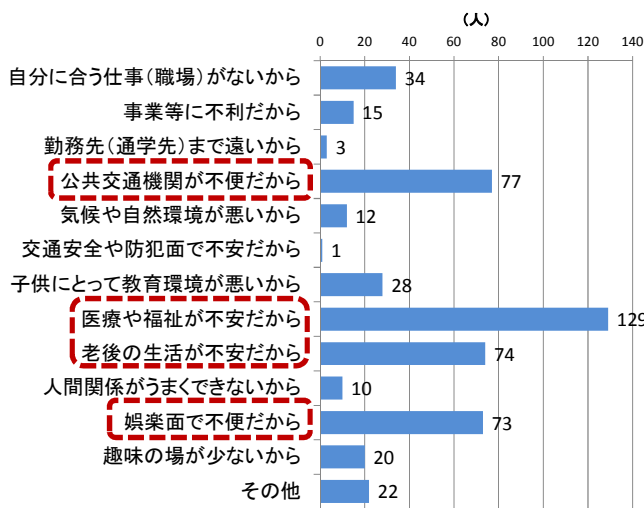
転出したい理由は、「医療や福祉が不安だから」、「公共交通機関が不便だから」、「老後の生活が不安だから」、「娯楽面で不便だから」が多くなっています。



※回答数 994

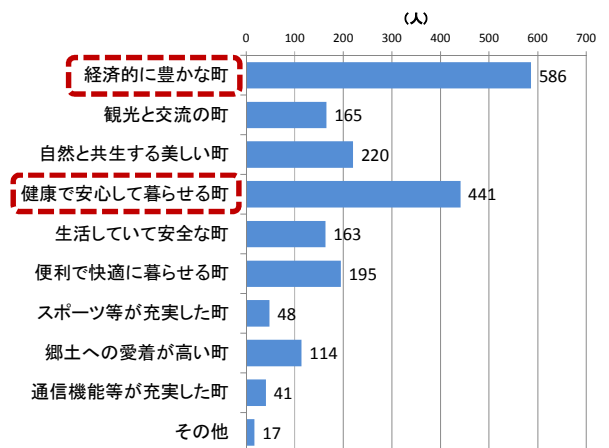
a. 転出したい理由 回答数 498

b. 住み続けたい理由 回答数 1376



■今後の浜中町は、どのような町になってほしいと思いますか。次の中から2つまで選んで番号に○印をつけてください。(問7)

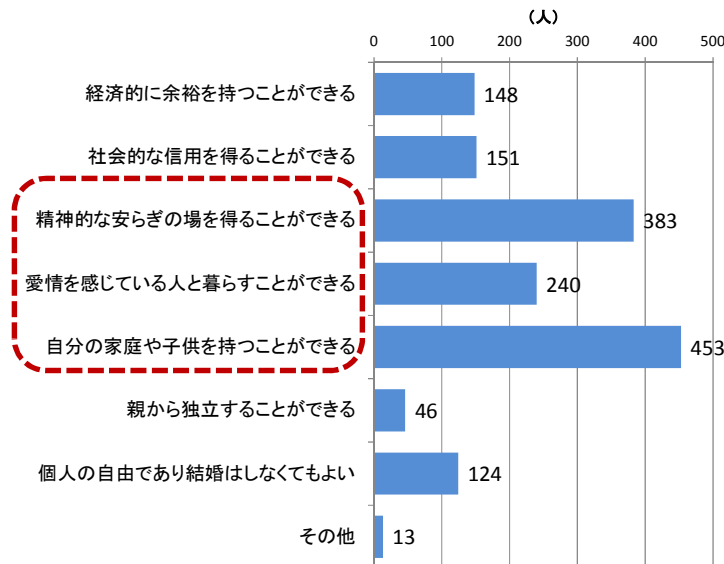
「経済的に豊かな町」、「健康で安心して暮らせる町」が多くなっています。



※回答数 1990

■結婚についてあなたの考え方に近いものを選んでください。当てはまる番号に○印をつけてください（複数回答可）。（問8）

「自分の家庭や子供を持つことができる」、「精神的な安らぎの場を得ることができる」、「愛情を感じている人と暮らすことができる」が多くなっています。



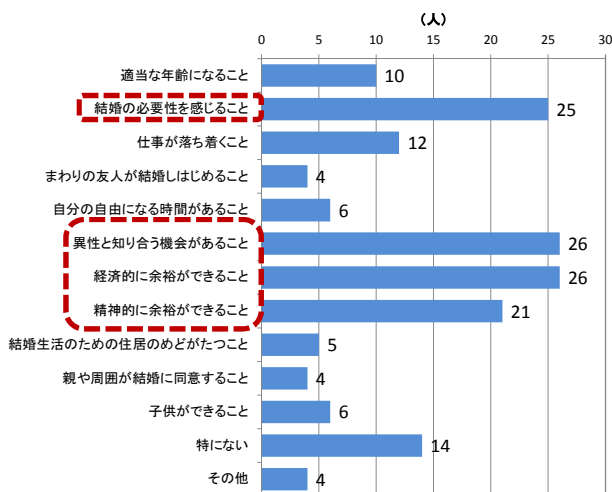
※回答数 1558

■あなたはどのような状況になれば結婚すると思いますか。既婚の方はどのような状況で結婚を決めましたか。当てはまる番号に○印をつけてください（複数回答可）。（問9）

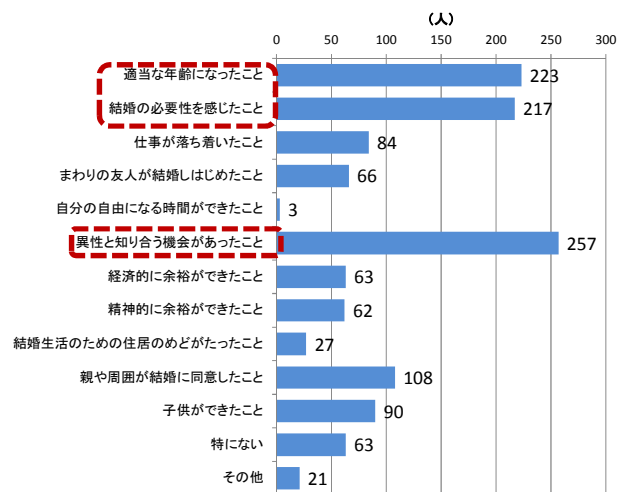
未婚の方は「異性と知り合う機会があること」、「経済的に余裕があること」、「結婚の必要性を感じる事」、「精神的に余裕ができること」が多くなっています。

既婚の方は、「異性と知り合う機会があったこと」、「適当な年齢になったこと」、「結婚の必要性を感じたこと」が多くなっています。

a.未婚 回答数 163



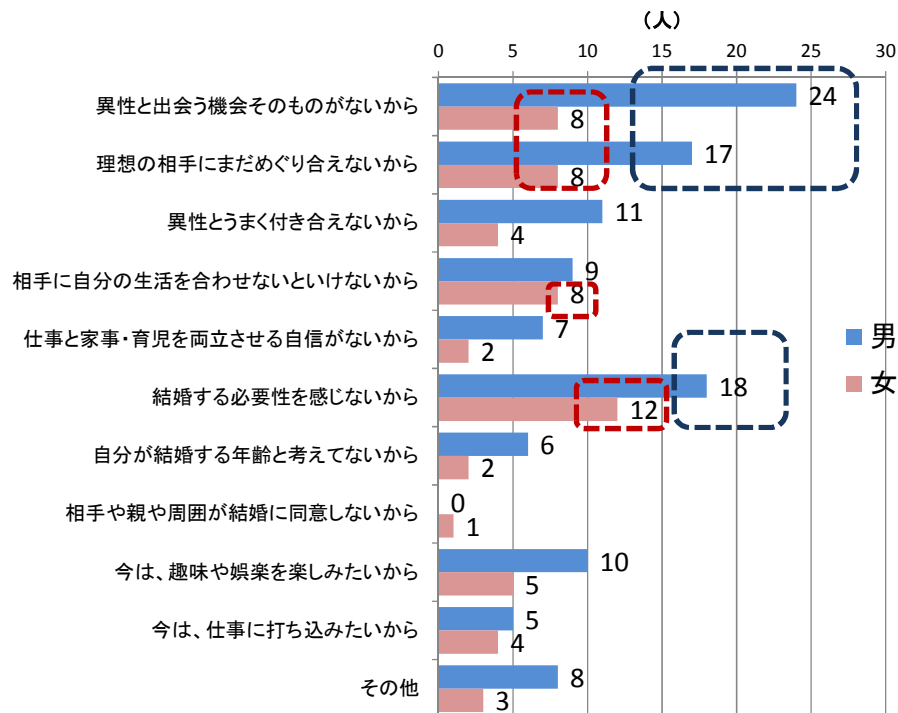
b.既婚 回答数 1284



■未婚の方にお伺いします。あなたが独身でいる理由は何ですか。当てはまる番号に○印をつけてください（複数回答可）。（問10）

男性は「異性と知り合う機会そのものがないから」、「理想の相手にまだめぐり合えないから」、「結婚する必要性を感じないから」が多くなっています。

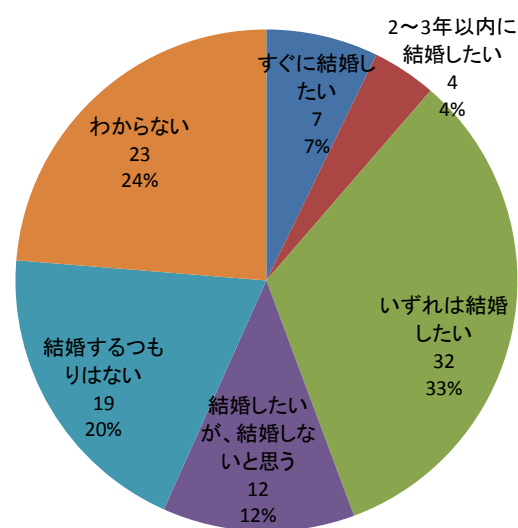
女性は「結婚する必要性を感じないから」、「異性と知り合う機会そのものがないから」、「理想の相手にまだめぐり合えないから」、「相手に自分の生活を合わせないといけないから」が多くなっています。



※回答数 172

■未婚の方にお伺いします。あなたは将来結婚したいと思いますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。（問11）

時期等に関わらず、「結婚したい」と答えた割合は、56%となっています。



※回答数 97

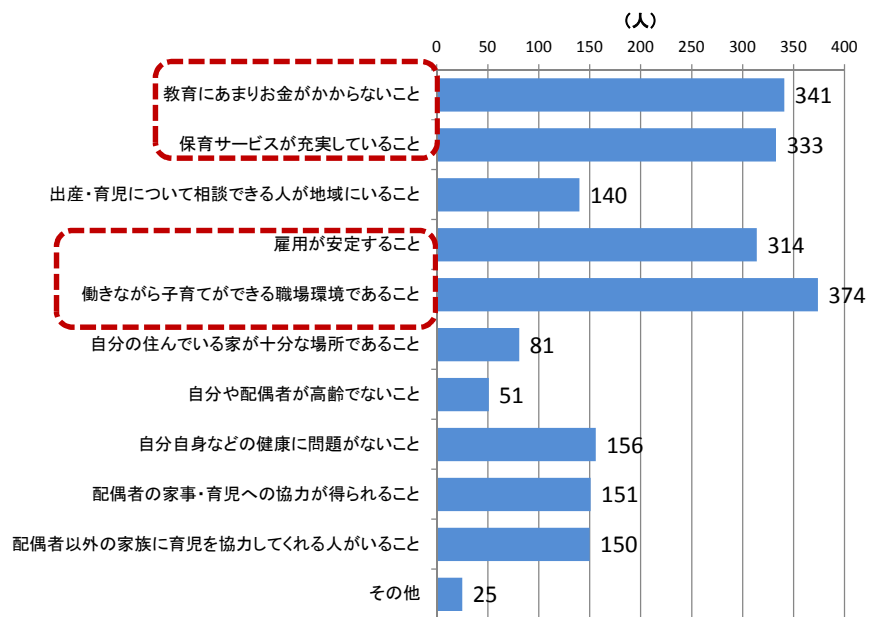
■浜中町は子供の出生、子育てをしやすい町だと思いますか。(問12)

「出生、子育てをしやすい」と答えた割合は、21%(167人/813人)にとどまります。

	男	女	計
思う	110	57	167
思わない	187	123	310
どちらでもない	206	130	336
合計	503	310	813

■あなたをとりまく環境がどのような状況であれば、子供を持ちやすい(育てやすい)と思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください(複数回答可)。(問13)

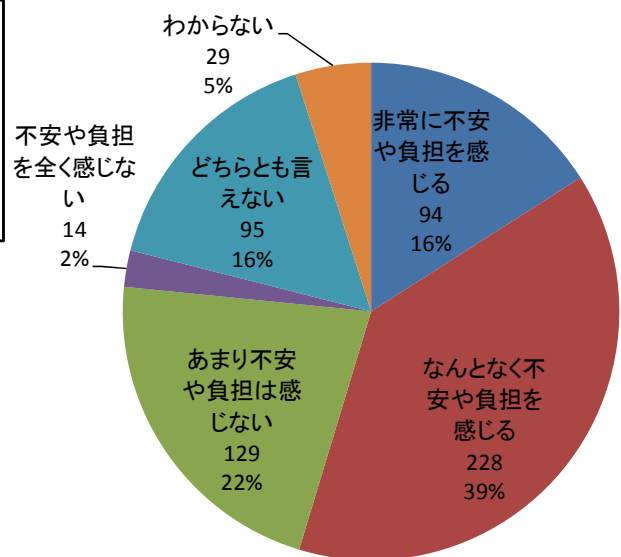
子供を持ちやすい環境は、「働きながら子育てができる職場環境であること」、「教育にあまりお金がかからないこと」、「保育サービスが充実していること」、「雇用が安定すること」が多くなっています。



※回答数 2116

■既に子供がいる方、将来的に子どもが欲しいと考えている方にお伺いします。あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。(問14)

「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせた割合は、55%となっています。

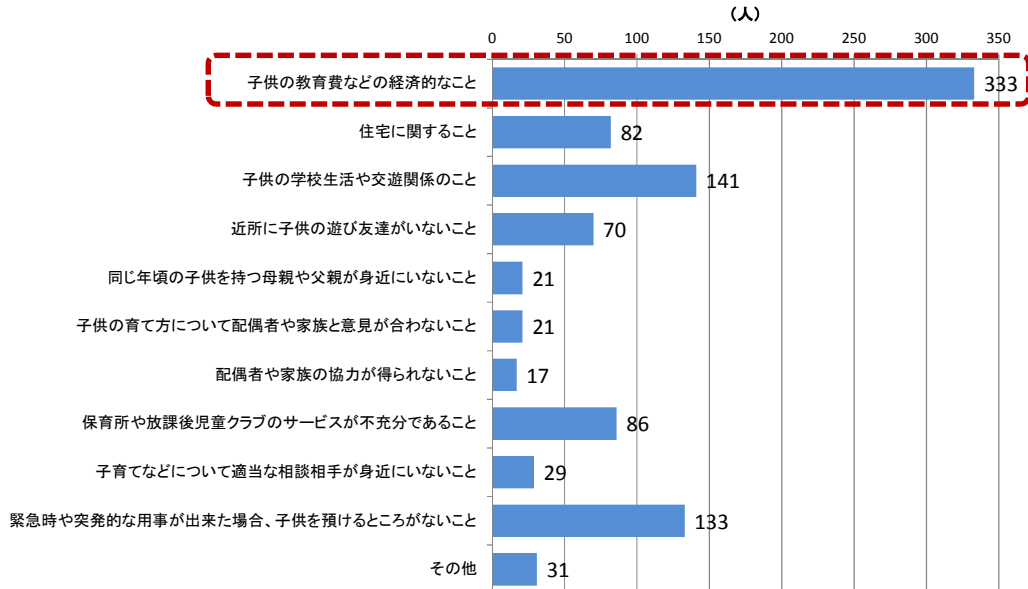


※回答数 589



■既に子供がいる方、将来的に子どもが欲しいと考えている方にお伺いします。子育てに関する悩み・不安について具体的にお知らせください。当てはまる番号に○印をつけてください。(問15)

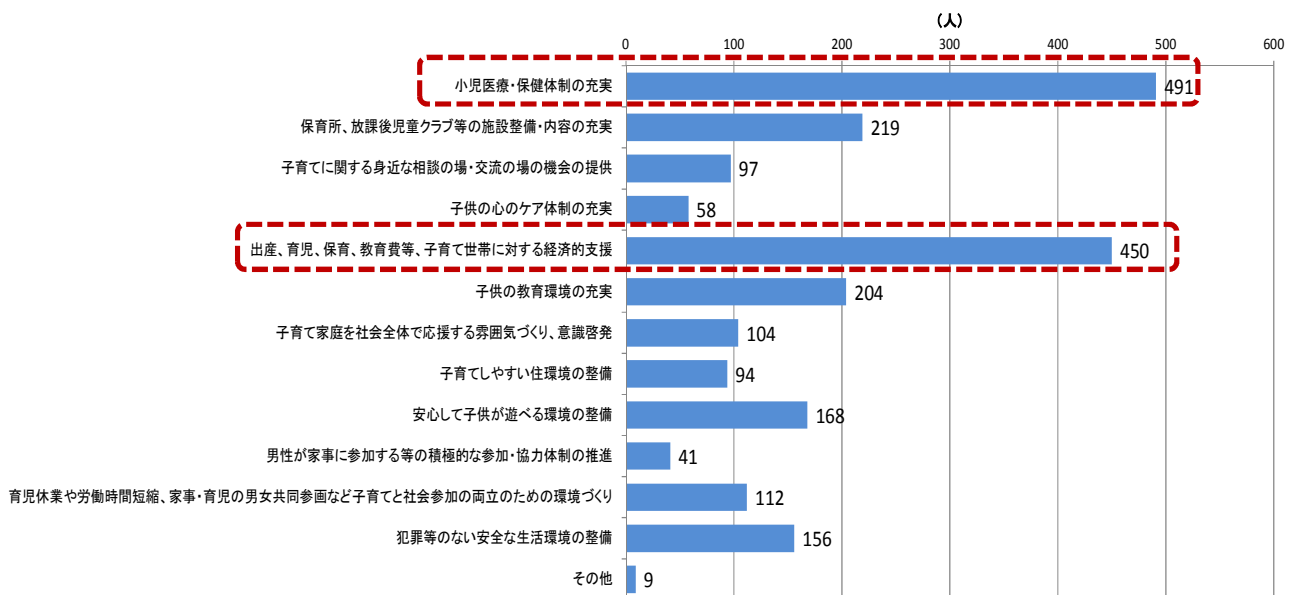
子育てに関する悩みや不安の内容は、「子供の教育費などの経済的なこと」が特化しています。



※回答数 964

■浜中町における子育て支援対策として重要だと思うものを3つ選んで当てはまる番号に○印をつけてください。(問16)

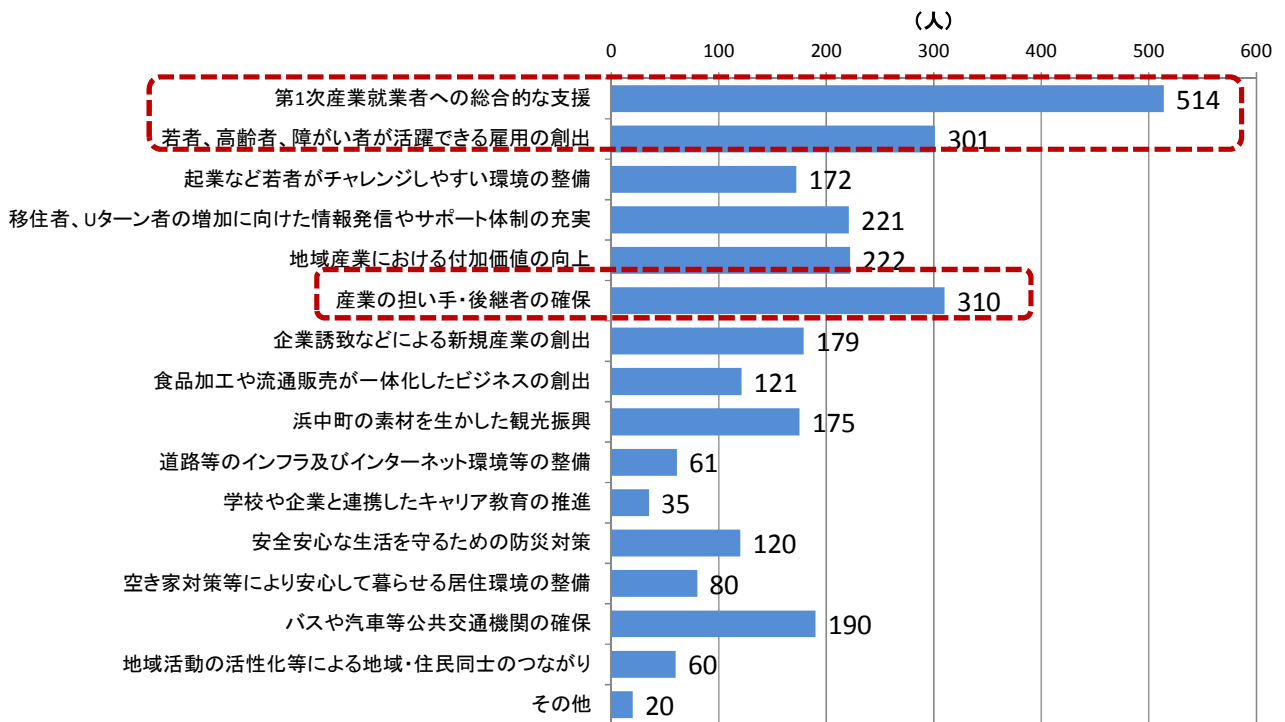
子育て支援対策の重要事項は、「出産、育児、保育、教育費等、子育て世帯に対する経済的支援」、「小児医療・保健体制の充実」となっています。



※回答数 2203

■浜中町において人口減少を食い止めるためにどのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。重要だと思うものを3つ選んで番号に○印をつけてください。(問17)

人口減少対策の重要事項は「第1次産業就業者への総合的な支援」、「産業の担い手・後継者の確保」、「若者、高齢者、障がい者が活躍できる雇用の創出」となっています。



※回答数 2781

#### 4-5 調査結果の総括

- 浜中町においては、雇用や就労の場の確保、医療面での不満があり、その対策が重要と考えられます。
- 浜中町は気候や環境に恵まれており、住みやすく、住み続けたいと考えられていますが、一方で、医療面や老後の生活面を理由とする町外への転出も考えられています。
- 結婚については、「結婚したいが、異性と知り合う機会がない」ことが課題と考えられます。
- 出産・子育てについては、経済的な面で不安や悩みを抱えている方が多く、その支援が望まれています。
- 人口減少対策の重要事項は、「第1次産業就業者への総合的な支援」、「産業の担い手・後継者の確保」、「若者、高齢者、障がい者が活躍できる雇用の創出」となっています。
- 小中学生や高校生は、浜中町に対して良いイメージを持っています。しかし、主に雇用や都市サービス面を理由に、町外へ転出したいという意向があります。

##### 【小中学生アンケートから】

- 浜中町について  
「好き」とする割合は、小学生が80%超、中学生が約50%となっています。
- 浜中町のイメージ  
「明るい町」、「環境が良い町」、「元気な町」、「魅力のある町」、「思いやりがある町」、「自慢できる町」の全てで、「思う」が70%以上となっています。
- 将来の職業  
男子は、「漁業」、「農業」、「公務員・団体職員」、女子は、「教職員・保育士」、「医療・福祉関係」、「理容・美容関係」が多くなっています。
- 浜中町での居留意向  
「住み続けたい」の割合は、小学生及び中学生男子は20%を超えていますが、中学生女子はわずか7%で、半数以上は「町外に移りたい」となっています。
- これからの浜中町  
「自然が豊かで環境にやさしい町」が最も多く望まれています。

##### 【高校生アンケートから】

- 卒業後の進路  
「進学したい」が34%で最も多く、次いで、「町外で就職したい」が29%となっています。なお、「町内で就職したい」は、21%となっています。
- 将来の職業  
男子は、「公務員など」、「農林漁業」、「教育、学習支援業」、「サービス業」、女子は「公務員など」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」が多くなっています。
- 浜中町の住みやすさ  
「住みよい」とする割合は、男子が63%、女子が73%となっています。

- 浜中町での居留意向  
「町内の今の場所に住み続けたい」とする割合は、男子が34%、女子が22%となっています。その理由は、「地元の生活に慣れているから」、「地元の風土が好きだから」が多くなっています。
- 浜中町から移りたい理由  
「地域にとらわれずに働きたいから」、「都市の方が様々な面で便利だから」、「志望する業種がないから」、「志望する企業がないから」、「希望するスキルを身に付けられないから」となっています。
- 将来の浜中町  
「便利で快適な生活環境が整った町」「自然が豊かで環境にやさしい町」「たくさんの人が訪れる観光と交流の町」が望まれています。

## 【町民アンケートから】

(浜中町の現状と将来)

- 生活面での現状の満足度  
「満足」と「やや満足」を合わせた割合が50%を超えているのは、「自然環境」、「ゴミ処理対策」、「上水道の整備等」、「下水道の整備等」、「交通安全防犯対策」、「消防防災体制」となっています。また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が50%を超えているのは、「医療機関の充実」、「日常の買物や娯楽の場」、「公共交通機関の利便性」、「雇用や就労の場の確保」となっています。
- 生活面での今後の重要度  
特に、「雇用や就労の場の確保」、「医療機関の充実」の割合が高くなっています。
- 農林水産業、商業、鉱工業、観光関連業の方の町の施策に対する満足度等  
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、38%にとどまります。これらの産業以外の方が特に力を注ぐべきと考えている分野は、「農業」、「水産業」が多くなっています。
- 浜中町のすみやすさ  
「住みよい」とする割合は、67%となっています。
- これからの居留意向  
77%が「住み続けたい」としています。その理由は、「自分に合う仕事（職場）がある」、「気候や自然環境が良いから」、「人間関係が安心できるから」が多くなっています。
- 転出したい人の理由  
「医療や福祉が不安だから」、「公共交通機関が不便だから」、「老後の生活が不安だから」、「娯楽面で不便だから」が多くなっています。
- 望む浜中町の姿  
「経済的に豊かな町」、「健康で安心して暮らせる町」が多くなっています。

(結婚について)

• 結婚についての考え方

「自分の家庭や子供を持つことができる」、「精神的な安らぎの場を得ることができる」、「愛情を感じている人と暮らすことができる」が多くなっています。

• 結婚の条件

未婚の方は「異性と知り合う機会があること」、「経済的な余裕があること」、「結婚の必要性を感じること」、「精神的に余裕ができること」が多くなっています。

既婚の方は、「異性と知り合う機会があったこと」、「適当な年齢になったこと」、「結婚の必要性を感じたこと」が多くなっています。

• 未婚の方の独身でいる理由

男性は、「異性と知り合う機会そのものがないから」、「理想の相手にまだめぐり合えないから」、「結婚する必要性を感じないから」が多くなっています。

女性は、「結婚する必要性を感じないから」、「異性と知り合う機会そのものがないから」、「理想の相手にまだめぐり合えないから」、「相手に自分の生活を合わせないといけなから」が多くなっています。

• 未婚の方の結婚の意向

時期等に関わらず、「結婚したい」と答えた割合は、56%となっています。

(出産・子育て)

• 出産・子育てのしやすさ

「出産・子育てをしやすい」と答えた割合は、21%にとどまります。

• 子どもを持ちやすい環境

「働きながら子育てができる職場環境であること」、「教育にあまりお金がかからないこと」、「保育サービスが充実していること」、「雇用が安定すること」が多くなっています。

• 子育てに関する不安や負担

不安や負担を感じている方の割合は、55%となっています。なお、その不安や悩みの内容は、「子供の教育費などの経済的なこと」が特化しています。

• 子育て支援策の重要事項

「出産、育児、保育、教育費等、子育て世帯に対する経済的支援」、「小児医療・保健体制の充実」が特に重要と考えられています。

• 人口減少対策の重要事項

「第1次産業就業者への総合的な支援」、「産業の担い手・後継者の確保」、「若者、高齢者、障がい者が活躍できる雇用の創出」が特に重要と考えられています。